

学科	担当教員氏名	テーマ（講義名）	内容
公共政策学科	石田 聖	市民参加の実践 ～情報技術の活用と地域課題の解決	高齢化社会の到来、自治体の財政難、町内会等の地域コミュニティの衰退等を背景として、新たな地域のまちづくりの担い手を育て、地域課題の解決を担う市民参加の取組みが各地で展開されています。この講義では、携帯端末やソーシャルメディア等を活用し、行政だけではなく市民が発見、提供した情報やデータを活用した地域課題解決の実践についてお話しします。
		高校における新しい主権者教育	我が国でも18歳選挙権導入で高校生も選挙に投票に行けるようになり、若者への主権者教育のニーズが高まりを見せています。この講義では、若者が選挙で投票へ行く意義を考えながら、長崎県内や海外の高校レベルで取り組まれている具体的な事例を交えつつ、主権者教育について話題提供を行います。
		「住みたいまち」になるためには？－全米－住みたいまちオレゴン州ポートランドに学ぶ	オレゴン州ポートランド市は、全米で最も住みたいまちとされ、「サステナブルなまち」「歩きやすいまち」「おしゃれなまち」などのランキングで上位を占め、国際的にも注目を集めています。そのまちづくりの手法や特徴的な市民参加は、日本でも注目され応用されつつあります。ポートランドの事例を通して、これからの地域が「住みたいまち」になるための条件について考えてみたいと思います。
		コンテンツツーリズムって何だろう？－聖地巡礼と地域活性化－	近年、国際的にも人気が高まっている日本のアニメ・マンガ・ゲーム作品等に登場する地域に、その作品のファンが訪れ、観光や地域経済の活性化に結び付いた「コンテンツツーリズム」が注目されています。こうした観光形態は、旅行者が作品（コンテンツ）に縁のある世界観に思いをはせることで、高い満足を得て、時にはその地域の新たな魅力や観光資源の発見にも結びついています。本講座では、長崎県におけるアニメ聖地巡礼をはじめとするコンテンツツーリズムの実践や地域活性化とのかわりについて話題提供します。
		佐世保独楽から考えるSDGsとESD	本講座では、佐世保市及び長崎県北周辺を中心に普及している伝統的な郷土玩具「佐世保独楽」を題材に、地域の歴史文化や資源の保全、世代間継承の取り組みについて紹介します。とりわけ、持続可能な開発目標（SDGs）及び持続可能な開発のための教育（ESD）の観点から、地域の伝統文化・資源の保全と継承の在り方について考えていきます。
	黒木 誉之	SDGs未来都市・熊本県水俣市における市民協働の地域づくり－持続可能な地域社会を目指して－	熊本県水俣市は、市民協働で水俣病からの地域再生に取り組み、2011年、「日本の環境首都」の称号を得、2020年度にはSDGs未来都市に選定されました。そこで、持続可能な地域社会形成のヒントとして水俣市の取組を紹介します。
		これからの地方自治－ガバメントからガバナンスへ－	地方自治という言葉聞いたとき、その主体としてまず思い浮かぶのは市町村や都道府県の自治体でしょう。しかし、近年ではボランティア、NPO、そして企業などの活躍が注目され、ガバメントからガバナンスへと変容してきたと言われています。そこで、具体的な事例を紹介しながらこれからの地方自治についてお話しします。
		体験しよう！防災シュミレーションゲーム「クロスロード」	「防災」は日頃から自分のこととして考えておくことが重要です。しかし実際に災害が発生した場合、どのように決断し行動すればいいのでしょうか。クロスロードは「岐路・分かれ道」という意味を持つ防災シュミレーションゲームです。自分の、そして他の人の決断理由についてもディスカッションしながら防災について理解を深めましょう。
		体験しよう！防災シュミレーションゲーム「HUG」	「防災」は日頃から自分のこととして考えておくことが重要です。しかし実際に災害が発生した場合、避難所に避難してもどのように運営すればいいのでしょうか。HUGは、避難所運営を自分たちで考えるためのシュミレーションゲームです。他の人とディスカッションしながら、どうすればより良い避難所運営ができるのか考えてみましょう。
		地域防災と災害復興	1995年の阪神淡路大震災をはじめ、2004年の新潟県中越地震、2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震など、近年、日本では大きな災害が続いています。そこで、一部ではありますが、被災地ではどのように災害復興に取り組んできたか、ソーシャル・キャピタルの観点からお話しします。併せて、これからの地域防災のあり方について考えます。

学科	担当教員氏名	テーマ（講義名）	内容
	黒木 誓之	市民自治と憲法	近年、社会の変容とともにボランティアやNPOなど自治的市民の活動が注目されています。一方、憲法は国の最高法規です。その憲法の解釈・運用に市民の運動がどのような影響を与えてきたのでしょうか。そして、憲法はどのように解釈・運用すべきなのでしょう。松下圭一著『市民自治と憲法理論』を紐解きながら、市民自治、目指すべきシティズン・ガバナンスについてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。
		市民自治と地球的平和	1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下され、第2次世界大戦は終結しました。しかし、戦後65年以上を経た今も、ロシアのウクライナへの軍事侵攻をはじめ、世界のどこかで戦争が続いています。もはや、「平和」を実現することはできないのでしょうか。市民自治の観点から、目指すべきシティズン・ガバナンス、地球的平和について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。
	相馬 清貴	憲法からみる国・地方の行政のしくみ	日本国憲法の規定を手掛かりにして国・地方の行政のしくみを講師の公務員生活における経験も交えて講義します。
		公務員という仕事（体験的公務員論）	公務員はどのような仕事をしている人たちなのでしょう。様々な職種の公務員の仕事を紹介するとともに、講師の経験やその中で考えたことにも触れながら公務員に共通して求められる資質や能力について学生の皆さんと考えていきます。
	車 相龍	計画の立て方 ―今日ののために明日をデザインする―	計画って、誰でも立てることですが、誰もがその通りにできるわけではありません。なぜでしょうか。この講義では、失敗する計画の理由を説明した上、未来のために現在を犠牲にする既往の計画づくりに対する反省から、より充実した今日を生きるために明日をデザインする方法を紹介します。
		地理で見る経済 ―なぜコンビニはそこにあるのか―	日常生活の様々な場面でぶつかる経済の問題を地理的な疑問から問い直す方法を紹介합니다。つまり、人間社会の経済活動を「場所」を媒介とした地理的現象により理解しようとする観点について分かりやすく説明し、普通、「難しい言葉や数字が沢山出てきて難しそうな経済」と「暗記することばかりで面倒くさそうな地理」の印象を変えるチャンスが得られる学び場を一緒に作ります。
	綱 辰幸	くらしと税金	「なぜ税金が必要なのか」、「なぜいろいろな税金があるのか」など、税金の基礎についてわかりやすく説明します。
		地方公共団体について考えてみよう！	身近に接する都道府県や市町村といった地方公共団体。このような地方公共団体とは、「そもそもどのようなものなのか」、「具体的にどのような仕事をしているのか」、「国との違いは何か」等について、三位一体や市町村合併など、近年のトピックスなど交えて、とりわけ経済的な側面（地方財政）を中心に話していく講座です。
		ゲームで考える「地方創生」と「SDGs」	日本は、2011年より人口の減少局面に入りました。そのなかでも、人口が増加している東京都とその他の地域の格差が生じており、その格差是正のためにも新しい形のまちづくり、地域の活性化が求められています。ただ、地域の活性化に際しても、限りある資源の中で、「持続可能な開発」が求められます。この持続可能な開発目標は、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（Sustainable Development Goals）といえます。そこで、『SDGs de 地方創生』というゲームを活用して、SDGsの時代におけるまちづくり、地方創生を考えます。
		地域衰退の現状と地域創造の必要性	日本の少子高齢化、さらに人口減少のなかで、地域における衰退について、統計データや将来推計を活用して、地域の人口減少の状況や社会経済的な課題を明らかにするとともに、工業都市、商店街、農村などの各地域の衰退の背景を説明する。加えて、地域の人口移動の原因についても併せて説明する。
	橋本 優花里	生活に役立つ心理学	心理学といえば、「人の心が読めるようになる」学問だと思われがちですが、そうではありません。しかし、心理学には、科学研究に裏付けられた日々の生活に役立つ視点がたくさんあります。この講座では、それらについて、理論的背景も踏まえながら、具体例とともに概説していきます。

学科	担当教員氏名	テーマ（講義名）	内容
	橋本 優花里	失敗の原因を考える	私たちは普段から失敗することがあります。失敗を全くしない人というのはほとんどいらっしゃらないのではないのでしょうか。本講座では心理学の視点から、失敗の背後にある色々な原因について考えていきます。
		記憶が良くなる？心理学	日ごろの生活の中で「忘れる」ことはよくあることですね。ただ、記憶には3つの段階があり、同じ「忘れる」でもそれぞれの段階に沿った3つのタイプがあることが分かっています。本講座では、3つのタイプに関係する心理学の記憶研究を紹介し、「忘れない」ためにはどうすればよいかを一緒に考えていきます。
	バロリ・ブレンディ	住んでよし訪れてよしの地域づくりを一緒に考えましょう	SDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」を達成するために世界の国々から活動事例と世界的に注目されている日本の貢献を紹介します。さらに持続可能な地域づくりのために、観光の振興、文化や歴史と伝統の保全、またこれから観光政策とインバウンドについて説明します。最後に地域が環境に配慮することと主体的・継続的取り組みを行うことを共に考えましょう。その上、住んでよし訪れてよしの地域づくりを一緒に目指しましょう！
		「魅力ある観光地域づくり」＝観光まちづくり	観光客の目線から観光客のニーズを説明し、地域資源の発掘と活用について述べていきます。地域住民が地域の特徴と資源を探り出し、その価値を理解し大切にすること、そして、どのようにわかりやすく地域外に発信していくかの方法を説明します。さらに、地域活性化を目指している生徒達に資源をどのように活用していくのかヒントを与えます。
		西バルカン協力イニシアティブの一環としてJICAの取り組みの紹介	日本は2018年1月西バルカン地域の社会経済改革支援を強化するための「西バルカン協力イニシアティブ」を立ち上げた（外務省）。ここで、本協力イニシアティブについて概説した後、JICAが西バルカン諸国で実施されている多数のプロジェクトとその効果について説明します。
	深谷 直弘	東日本大震災と福島第一原子力発電所事故について考える。	東京電力福島第一原子力発電所事故を含めた東日本大震災から12年が経過しました。ここでは震災・原発事故が起きると地域社会はどうなるのか、そしてどのような復興・再生を行っているのかについて紹介します。また地域再生との関連で震災の記憶を残すことの意味・意義についてもお話します。
	前田 竜孝	長崎県の水産業のようすと今後の課題	長崎県は、全国有数の水産県として、就業者数は都道府県別で第2位を誇る。しかし、若年者の減少と高齢化といった問題も抱えている。本講義では、統計と景観写真等を用いて、長崎県の水産業の概要と、今後の課題を考える。そして、県内漁業の強みと弱み、また特徴的な取り組みについて明らかにする。
	森岡 拓郎	商店街はショッピングセンターと戦えるのか？経済学から考える商店街の生き残り戦略	地方都市の商店街はどこも苦しんでいます。郊外の大規模ショッピングセンターとの競争にさらされ、昨今はネット通販にも大きくシェアを奪われている現状です。ではどうすれば商店街は生き残れるのでしょうか？経済学からの回答は店舗間の利害関係の調整（経済学では外部性の内部化といいます）です。実は大規模ショッピングセンターが強いのも、この機能があるからです。また高松の丸亀商店街など成功している商店街も店舗間の利害関係を調整することで魅力ある商店街になっています。講義では、なぜ利害関係を調整すると良いのかを説明し、どうすれば利害関係をうまく調整できるのか、一緒に考えていきたいと思っています。
	八木 寛之	いま、町内会・自治会について考える	日本の多くの地域には「町内会」や「自治会」という住民組織が存在しています。しかし、いまその加入率は低下していると言われています。町内会・自治会は日本のどこにでもあるにもかかわらず、（とくに若い人にとっては）身近なものではなくなりつつあるのかもしれない。ここでは、「町内会・自治会がどうあるべきか」を考える前に、なぜ町内会や自治会がこれまで日本の地域社会に根付いてきたのか、という「ふしぎ」について考えてみたいと思います。
	八木 寛之	孤独（ぼっち）の社会学	社会学は社会問題について考える学問です。ところで「（ひとり）ぼっち」は社会問題といえるのでしょうか？「ぼっちであること、孤独であることは個人の問題ではない」という観点から、孤独について社会学の立場から考えてみたいと思います。

学科	担当教員氏名	テーマ（講義名）	内容
	吉本 諭	統計データでみる長崎県の地域経済 ～長崎県はどのような地域でしょうか？～	私たちが住んでいる長崎県は一つの地域です。私たちが暮らす長崎県はどのような地域でしょうか？地域経済という視点から、客観的な指標である統計データにもとづき、長崎県の現状と特徴についてお話しします。